

振替払込
受付証明書
(E票)
貼付欄

必ず郵便局・銀行
等の窓口で振り込
みください。

申込場所

北海道大学高等教育推進機構1階 6番公開講座窓口

実施会場

北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室

札幌市北区北17条西8丁目

地下鉄「北18条」駅下車徒歩9分(約500m)

中央バス「北18条西5丁目」下車徒歩7分(約400m)

(7/20のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂

札幌市北8条西5丁目

札幌駅下車徒歩10分(約300m)



●自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

平成27年度

北海道大学 公開講座 全学企画

テーマ

人と環境が 抱える難問

～その解決の最前線～

申込
期間

平成27年 6/2 火 ▶ 6/24 水
(土曜・日曜を除く) 9:00~17:00

実施
期間

平成27年 7/2 木 ▶ 7/23 木 18:30~20:30
(但し7月20日のみ13:00~14:45及び15:15~17:00)

会場

北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)
(7/20のみ)北海道大学 学術交流会館小講堂
(札幌市北8条西5丁目)

受講料

5,000円

講師略歴

第1回	医学研究科 教授 白土 博樹 (しらと ひろき)	北海道大学医学部卒。帯広厚生病院などを経て、2006年から現職。専門は放射線医学。「動体追跡陽子線治療装置」の開発を始めとして、放射線治療の分野を世界的にリードしている。2014年に北海道科学技術賞、日本産業技術大賞審査員特別賞を受賞。
第2回	文学研究科 教授 中村 三春 (なかむら みはる)	東北大学大学院文学研究科博士課程中退。山形大学教授などを経て、2008年から現職。専門は日本近代文学。宮澤賢治や太宰治らの作品分析や、文芸理論の研究などを幅広く手がける。近著に「フィクションの機構2」。2007年、岩手県花巻市から宮澤賢治賞奨励賞を受賞。
第3回	農学研究科 特任教授 岩間 和人 (いわま かずと)	北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。1999年から同研究科教授。専門は作物学。とくに根系に着目して、地球温暖化に対応した乾燥に強い品種の研究を進めてきた。世界で初めて乾燥抵抗性パレイショの育成に成功し、2011年日本作物学会賞を受賞。
第4回	工学研究科 教授 佐藤 努 (さとう つとむ)	早稲田大学大学院理工学研究科博士課程修了。日本原子力研究所(現・日本原子力研究開発機構)などを経て、2011年から現職。専門は鉱物学・地質学。有害物質を隔離する材料や、汚染水・土壌の浄化法などを研究。放射性廃棄物の地層処分の研究にも長年携わってきた。
第5回	法学研究科 教授 町村 泰貴 (まちむら やすたか)	北海道大学法学部卒。小樽商科大学、南山大学などを経て、2007年から現職。ネット上の商取引やSNSのトラブル、DV(ドメスティック・バイオレンス)など、社会の変化に伴って生じる新しいタイプの「もめごと」を解決するしくみを、民法学からの観点から研究している。
第6回	法学研究科 教授 遠藤 乾 (えんどう けん)	北海道大学法学部卒。オックスフォード大学で博士(政治学)取得。2006年から現職。専門は国際政治学。主著「統合の終焉:EUの実像と論理」で2014年読売・吉野作造賞を受賞。東アジアの地域秩序や日本の安全保障についても精力的に研究と発信を続けている。
第7回	人獣共通感染症 リサーチセンター 教授 高田 礼人 (たかた あやと)	北海道大学大学院獣医学研究科博士課程修了。2005年から現職。専門はウイルス学。人獣共通感染症を引き起こすウイルスの病原性や宿主となる生物、予防・診断・治療法を研究。エボラウイルス研究の第一人者で、感染を15分で判定できるキットをこの春開発した。
第8回	教育学研究科 准教授 辻 智子 (つじ ともこ)	お茶の水女子大学大学院博士課程単位取得満期退学。東海大学特任講師などを経て、2013年から現職。博士(学術)。専門は社会教育学。主な研究テーマは青年教育で、現在は主に東日本大震災の被災地を含む農山村を対象に、若者たちの模索と自己形成を研究している。



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

テーマ 人と環境が抱える難問～その解決の最前線～

講座内容

人間の社会も、それをとりまく自然環境も、かつてないほどの速度で変化しつづけるなか、私たちが向き合うべき問題も、複雑さと困難さの度を増しています。ここ数十年で、「持続可能な社会」という目標が、スローガンとしては世界的に共有されるようになりました。その実現を目指して、さまざまな分断や対立を乗り越えて知恵を結集することが、今日ほど強く求められている時はありません。本講座では、くらしに密着した話題から国境を越えてグローバルにひろがる問題まで、現代社会の「難問」を掘り起こし、それらに日々挑んでいる北海道大学の研究者8人がお話しします。

申込期間	平成27年6月2日(火)～平成27年6月24日(水) 《土曜・日曜を除く》9：00～17：00
------	--

実施期間	平成27年7月2日(木)～平成27年7月23日(木) 18：30～20：30 (但し7月20日のみ13：00～14：45及び15：15～17：00)
------	--

定員	100名(7月20日のみ単発で250名まで受講可能)
----	----------------------------

受講料	5,000円 <small>※専用の払込票にてお支払いください。振替払込受付証明書(以下、E票)は、受講申込書の所定の位置に貼付のうえ提出願います。なお、既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。</small>
-----	---

会場	北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室 (札幌市北区北17条西8丁目) (7/20のみ)北海道大学 学术交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)
----	--

受講資格	18歳以上の方であればどなたでも受講できます。 (学歴・職歴は問いません)
------	--

特定回の受講	全8回の講義のうち、定員に余裕がある場合は、特定回のみ単発で受講することが可能です。希望される講義の開催3日前までに問い合わせ先までご連絡ください。なお、特定回の受講料は1回あたり1,500円です。
--------	---

修了証書	6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。
------	---------------------------------

道民カレッジ	本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。 (能力開発コース 15単位)
--------	--

申込手続きの流れ

- はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。
 - 定員に余裕がある場合
- 専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取った「振替払込受付証明書(以下、E票)」は、受講申込み時に必要ですのでなくさないようご注意ください。
- E票を裏面に添付した受講申込書を直接窓口へご持参いただくか、郵送でお申し込みください。

問い合わせ・申込先	国立大学法人北海道大学学務部学務企画課(教育支援担当) 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階 6番公開講座窓口 電話 011-706-5567(直通)
-----------	---

日程	講義題目	講師	講義概要
第1回 7/2(木)	がんに対する 動体追跡陽子線治療	医学研究科 教授 白土 博樹	がんを根治でき、しかも機能や形態を温存できる陽子線治療に、北大では、さらに呼吸などで体内で動く腫瘍にも集中して照射が可能な動体追跡陽子線治療装置を世界で初めて開発しました。
第2回 7/6(月)	相互扶助の社会環境 —先人有島武郎の道—	文学研究科 教授 中村 三春	札幌農学校出身の作家有島武郎は、相互扶助の精神に基づき、晩年にニセコの有島農場を小作人に開放し、産業協同組合としました。有島の事跡を探り、現代社会の難問である格差の是正について、文学的な観点から迫ってみます。
第3回 7/9(木)	日本における作物栽培の 現状と将来展望	農学研究院 特任教授 岩間 和人	世界全体の人口増加は継続中であり、将来的に食料が不足する可能性があります。この講義では、日本におけるイネ、コムギ、ダイズやバレイショなどの主要食用作物の栽培状況と今後の展望について説明します。
第4回 7/13(月)	どうする?! 核のごみと鉱山廃水	工学研究院 教授 佐藤 努	原子力の様々な恩恵を受けると、巷で「核のごみ」と呼ばれている放射性廃棄物が、石炭や金属の恩恵を受けると、それらの鉱山からは有害物質を含む「鉱山廃水」が排出されます。本講座では、人と環境が抱える難問である2つの厄介者の現状と処理・処分についてお話ししたいと思います。
第5回 7/16(木)	インターネットは 福音か、災いの源か	法学研究科 教授 町村 泰貴	ネットやスマホは、私たちの暮らしを便利で充実したものに変わりました。しかし、これまでにない争い事や犯罪、不安要素も増えています。この講座では、法学の立場からネット社会の現状を考えてみます。
7/20 第6回 13:00～	平和は可能か —日本の安全保障を考える—	法学研究科 教授 遠藤 乾	問題や紛争はたやすく生起し、逆に平和は難問のままです。この講義では、現代の日本に引きつけ、どのように日本の安全保障を考えていくべきか、道すじを整理したいと思います。
7/20 第7回 15:15～	エボラウイルス研究の最前線	人獣共通感染症 リサーチセンター 教授 高田 礼人	エボラウイルスはヒトを含む霊長類に重篤な出血熱を引き起こす病原体です。本講演では、エボラウイルスの病原性や自然界における生態解明および予防・治療法開発に向けた研究を紹介します。
7/23(木) 第8回	若者にみる難問・若者が挑む難問 —地域青年活動の歴史と現在—	教育学研究院 准教授 辻 智子	若者の姿は時代と社会を映し出します。時代の転換点に生きた／生きている若者たちの姿を通して、我々の社会が抱えている難問を考えるとともに、それに対峙する若者たちの模索と格闘の歩みに目を留めてみたいと思います。

自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学术交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

平成27年度 北海道大学公開講座	
受 講 申 込 書	
フリガナ 氏 名	年代 (___0歳代) 男 ・ 女
〒	
現住所	
TEL (_____)	_____ - _____

(アンケート) 下記に該当する部分に○をつけてください。

問1. あなたはこの講座をどのようにして知りましたか。

1. 新聞
 2. インターネット
 3. 受講案内(直接送付されたもの)
 4. 受講案内(学習センター・図書館・ちえりあに置いてあったもの)
 5. 受講案内(ふれあい広場に置いてあったもの)
 6. 道民カレッジガイドブック・ホームページ
 7. 友人・知人からの誘い
 8. その他(_____)

問2. 受講を申し込むにあたり、どなたかを誘われましたか。

1. 友人 2. 知人 3. 家族 4. その他

問3. 誘った結果はどうでしたか。

1. 申し込んだ 2. 申し込まなかった 3. わからない

問4. あなたは過去に大学が主催する公開講座を受講したことがありますか。

1. ある 2. ない

問5. 問4で「ある」と答えられた方は、以下から該当するものを全てお選びください。

1. 北海道大学の全学企画の公開講座を受講したことがある。
 2. 北海道大学の各研究科等が主催する公開講座を受講したことがある。
 3. 北海道大学以外の大学公開講座を受講したことがある。

問6. あなたは道民カレッジの学生になっていますか。

1. はい カレッジ生番号(_____) 2. いいえ

問7. 今後、受講案内の送付を希望しますか。

1. はい 2. いいえ

・担当者記入欄	
日 付	番 号